連続講座

移住者の権利キャンペーン2020
「ここにいる koko ni iru.」企画

移民二世からの研究発信

外国から出稼ぎ労働者が来日するようになって30年が経過し、日本で育った子ども世代のなかから、「移民研究者」が誕生しています。「移民」を、みずから経験してきた研究者たちは、自分たちを対象としてきた先行研究をどのように読み、研究者としてみずからはどのようにアプローチしていくのでしょうか。

第4回目は、カトリック教会における宗教実践について、ペルー出身のカルロス・オチャンテさんとロサ・オチャンテさんの報告と谷富夫さんのコメントです。関西初開催となりますので、お近くの方はぜひご参加ください。

報告者：**カルロス・オチャンテ**（奈良学園大学非常勤講師）
ロサ・オチャンテ（奈良学園大学助教）

「カトリック教会における多言語・多文化環境の実態：三重県伊賀市の事例」

コメンテーター：**谷富夫**（甲南大学）

2018. 4. 21. (Sat.) 15:00～17:00

上智大学大阪サテライトキャンパス教室2
（大阪市北区豊崎3-12-8　カトリック梅田教会2階）

申し込み不要・無料

移住者の権利キャンペーン2020
「ここにいる koko ni iru.」とは

移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）は、移住者と多様なルーツをもつ人々の権利と尊厳が保障される社会、制度、政策をめざして、多くの人が参加し、意見を出し合う場をつくる、移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる koko ni iru」をスタートしました。

タウンミーティングなどを通し、移住者あるいは外国にルーツを持つ方々が「ここにいる」ことを社会に広めるとともに、2020年に向けた政策提言を発表します。

主催：上智大学グローバルコンサーン研究所
共催：NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト
問い合わせ先：Tel: 070-6519-1391　E-mail: inabananako@gmail.com（稲葉）